

10/17 オープン会議「鶴中プロジェクト」議事録

参加者：中村一仁、安、伊藤、阪井、中村寛子、李、金哲也、清水、木村、尾谷

現状

地域を取り込む、巻き込めていない

現在は、桃中の第二グラウンドの位置付けである。

学校の行事優先、他でも使うので、日程が決めにくい

生野区の西部地域は、学校再編の問題があり、デリケート

鍵の開閉、窓口など管理上の問題

継続していくには、運営資金がない

参加企業から、いつまでに何を指すか（三回目の目標、三年後の目標）提示してほしい

鶴中プロジェクトのコアメンバーは、あくまでも開催のお手伝い

30歳～40歳が、ターゲット

食品の扱いについては、食品衛生法、大阪市保健局は厳しい

あちこちの教室を使うのではなく、集めたほうが、来てる感がある

今後の対応

考えるイメージ

いくのもり(施設、イベント計画管理)⇒実行委員⇒複数のイベント開催者⇒出展者

先を見据えながらも、すべてを一度に整えない

あと二年半の使い方をきちんと計画し、学校側に伝えていく

「いくのもり」をどう使うか、「いくのもり」が重しになる

参加費を取るなどお金を回す仕組み 大阪市ボランティア協会などの補助金申請

鍵などの受け渡しは、基本ルール作り

飲食などは、グレーゾーンのところがあり、文書化してルールを作る

青空市場で、白菜など野菜の販売→東部市場（野菜がだぶついている）、JAの協力

地域を取り込む、巻き込む働きかけ

鶴中と勝中が統合した桃谷中学校も巻き込んでいく

11/20生野区主催の参画エントリー会議に、鶴中プロジェクトがプレゼン参加して

その中で立ち上げた実行委員会の委員募集し、その後3回目開催

映画「みんなの学校」の上映をやりたいとの声もある

生野区のまちづくりにかかわる外部組織にも実行委員会に入ってもら

10/19 オープン会議「鶴中プロジェクト」要約

参加者：安、阪井、金哲也、金康裕、木村、宇野、湯本、城間、宇野、宇野

参加者は、前回の一部メンバーに、初めて参加された NPO 法人理事、都島区まちセンメンバー、PTA 保護者と子供さんが参加していたので、趣旨と現状説明に時間をかけました。そのうえで、下記の意見が出されています。

組織などについて

運営と開催を完全に分離させる

運営管理は、いくのもり、実際に実行していくのは、実行委員会

中学校生徒、保護者に実行委員会に入ってもらう

あと二年半の計画を立てる中で、例えば、7 回目は子どもたちだけの実行委員会を行う

具体的な内容について

防災フェス⇒教室での寝泊まりなど

フリースクールとの連携

そば打ちやみそ作り体験

体育大会開催

全体のまとめ

考えるイメージである、下記の考えに一定の賛同が得られたと考えています。⇒
いくのもり(施設、イベント計画管理)⇒実行委員⇒複数のイベント開催者⇒出展者

具体的な内容については、いろんな意見があり、今後まとめていきます。

当面の具体的方針

① 今月 29 日に行う「いくのもり」定例理事会において、

三回目の日程を含めた二年半の計画立案などの今後の方向性を話し合う

*ご意見ある方は、今月中に役員 木村、安、金康裕、中村一仁 宛にいただく

② 今月末締切りの 11/20 区主催の「参画エントリー会議」に「鶴中プロジェクト」の名で申し込みます。皆さんからいただいた意見を取り込んでプレゼンいたします。

なおこの当面の方針にとどまらず、「スピード感も大事」ですので、もと鶴中で、何かアクションを起こしたいという「声」や「動き」は進めていきますが、そのつど進捗の共有と異論があれば協議していきたいと考えています。